ID No.101	
研究課題名	ライソゾーム病からのiPS細胞作製と病態解析
研究代表者	衛藤 義勝 (東京慈恵会医科大学・教授)
研究組織	受入教員 中内 啓光 (東京大学医科学研究所) 研究分担者 大橋 十也 (東京慈恵会医科大学) 樋口 孝 (東京慈恵会医科大学) 河越 しほ (東京慈恵会医科大学) 大津 真 (東京大学医科学研究所)
研究報告	
ヒト神経型ゴーシェ病(II型)iPS細胞(以下略:hGDII-iPS細胞)の樹立・解析と神経細胞への分化を試みた。hGDII-iPS細胞の特性を調べるため透過型電子顕微鏡をもちいて細胞内部構造を解析した。hGDII-iPS細胞の細胞質に多数の巨大な空胞を確認した。しかし初期化前のゴーシェ病皮膚線維芽細胞に確認されたミエリン様のライソゾーム封入体はhGDII-iPS細胞には確認できなかった。hGDII-iPS細胞と健常ヒトiPS細胞(TKDA3-4細胞株)を酸性フォスファターゼ染色にて比較検討したが両者に優位な差はなかった。hGDII-iPS細胞を神経細胞に分化させることに成功したが分化効率は未だ良くない。今後ゴーシェ病iPS細胞が持つ特性の解析と分化させた神経細胞の特徴を解析する。非神経型ゴーシェ病(I型)iPS細胞の樹立を複数回試みたが樹立できなかった。現在ヒト古典型ファブリー病iPS細胞の樹立中である。	